

2026年度版

中小企業診断士 一次試験



まとめシート

後編

野網美帆子=著
中小企業診断士

- 経済学・経済政策
- 経営法務
- 経営情報システム
- 中小企業経営・
中小企業政策



Contents

第1章

中小企業診断士試験とは

本書の特徴	004	01 ■ まとめシートの効果的な使い方	006
-------	-----	---------------------	-----

第2章

経済学・経済政策

のあみの「ここが面白い！」



経済学って難しそうと思う方もいるかもしれません、実は学んでみると、意外と面白い科目です。

例えば、「ビールと焼き鳥はどう組み合わせるのが満足度が高いのか」を真剣にグラフで分析するなど、日常の“あるある”を経済理論で読み解けたりします。式数とか出てきて不安…という方も大丈夫！診断士試験に必要な式は中学レベル+αで対応できますし、数学が苦手な方向けの解説もご用意しています。

00 ■ 最低限覚えてほしい経済学で使う数学	012	09 ■ GDPと物価	052
01 ■ 費用関数と生産関数	018	10 ■ 経済統計	058
02 ■ 無差別曲線	024	11 ■ 45度線分析・乗数理論	062
03 ■ 需要曲線と供給曲線	028	12 ■ 貨幣供給と貨幣需要	066
04 ■ スルツキー分解	032	13 ■ IS-LM分析	070
05 ■ 余剰分析	036	14 ■ AD-AS分析	076
06 ■ 独占・自然独占・寡占	040	15 ■ マンデル・フレミングモデル	080
07 ■ ゲーム理論・比較優位	044	16 ■ マクロ経済学の諸理論①	084
08 ■ 市場の失敗	048	17 ■ マクロ経済学の諸理論②	088

第3章

経営法務

のあみの「ここが面白い！」



経営法務では、会社法や知的財産権など、ビジネスを行う上で知っておくべき法律の基礎を学びます。

最初はとっつきにくいかもしれません、実際に会社を作ったり、商標を登録したりすると「おお、勉強した通りだ！」と感動します。特許や意匠、商標などの知的財産の世界も非常に奥が深く、特許や商標の仕組みを知ると、身の回りのロゴや商品名の戦略に気づけますよ。

01 ■ 会社設立	094	11 ■ 産業財産権③	146
02 ■ 株式会社の機関設計	098	12 ■ 著作権	150
03 ■ 株式会社の機関の詳細①	104	13 ■ 不正競争防止法、独占禁止法	154
04 ■ 株式会社の機関の詳細②	108	14 ■ 民法の基礎知識	158
05 ■ 資金調達	112	15 ■ 民法総則	162
06 ■ 組織再編	118	16 ■ 債権と物権	166
07 ■ 持分会社と組合・株式市場	124	17 ■ 契約	170
08 ■ 倒産	130	18 ■ 相続	174
09 ■ 産業財産権①	134	19 ■ 国際取引など	178
10 ■ 産業財産権②	140	20 ■ その他の法律・契約	182

第4章

経営情報システム



のあみの「ここが面白い！」

経営情報システムは、ITやデジタルの仕組みを幅広く学べる“現代の必修科目”です。

ハードウェア・ソフトウェアからネットワーク、セキュリティ、AIまで、ビジネスパーソンなら知っておきたいITリテラシーをまるっと底上げしてくれます。横文字が多くて最初は少し大変ですが、ITが苦手な方も、学び終えるころには「それなりにわかる！」に変わっているはずです。

01 ■ コンピュータの5大装置	188	10 ■ TCP/IPとプロトコル	224
02 ■ 記憶装置	192	11 ■ システム構成技術	228
03 ■ ソフトウェア	196	12 ■ セキュリティ	234
04 ■ プログラム	200	13 ■ ソフトウェア開発	240
05 ■ ファイル・データ分析	204	14 ■ アジャイル開発・テスト	244
06 ■ データベース	208	15 ■ 開発管理	248
07 ■ データベース操作、モバイル端末の利用	212	16 ■ 経営情報管理	252
08 ■ ネットワーク	216	17 ■ Web利用、その他IT関連用語	256
09 ■ インターネット	220		

第4章

中小企業経営・中小企業政策



のあみの「ここが面白い！」

中小は覚えることが多い科目ですが、実は診断士として仕事をしていきたいのであれば、この科目で学ぶ内容が、最も役立つ“稼げる知識”なんです。勉強中は「暗記が大変…」と思うかもしれません、中小企業の支援に必要な様々な制度の知識を身につけることができるので、実務では「これを学んでおいてよかった！」と実感する瞬間がきっと来るはずです。

01 ■ 中小企業の統計	262	08 ■ 共済制度・融資制度	290
02 ■ 中小企業の動向①	266	09 ■ 創業と経営力強化のための支援	294
03 ■ 中小企業の動向②	270	10 ■ 事業承継・その他の支援	298
04 ■ スケールアップへの挑戦	274	11 ■ 受託取引の適正化	302
05 ■ 中小企業・小規模企業の支援、 小規模企業白書	278	12 ■ 組合・高度化事業	306
06 ■ 中小企業関連の法律	282	13 ■ 中小企業の成長促進のための計画	312
07 ■ お金関係の支援	286	14 ■ 補助金制度	316

COLUMN 1	経済学の勉強方法	035
COLUMN 2	経営法務の学習方法	123
COLUMN 3	科目合格制度と「1.5年計画」	129
COLUMN 4	経営情報システムの学習方法	233
COLUMN 5	中小企業経営・政策の勉強方法 ①エピソード記憶の活用	297
COLUMN 6	中小企業経営・政策の勉強方法 ②暗記カードの活用	311

科目ごとの
「ここが面白い」
ポイントは、
YouTubeでも
解説しています!



第1章

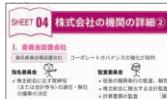
本書の特徴



1つのシートで1~3つの論点

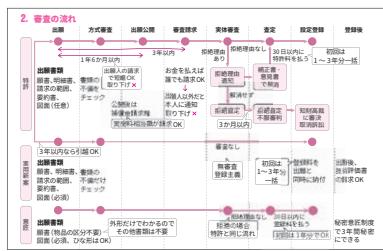
学ぶべき内容が1枚のシートに凝縮されているので、暗記にも、試験直前の「ファイナルペーパー」にも大活躍！

※1シートで1つの論点のときは、論点見出しはありません



図解

視覚的な理解をサポート。
表形式で比較しながら覚えた方が、効率的な箇所はまとめ表を掲載。



本書のキャラクター「まとっち」

様々な表情を見せるキャラクター「まとっち」。感情移入しながら眺めると構記憶に残りやすい……かも？



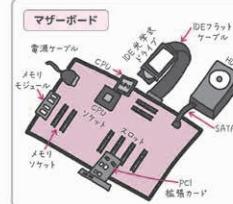
豊富なイラスト

学習内容に関連したイラストがたっぷり。ゆるいイラストとちょっとしたセリフで、見ていくだけでも覚えてしまいます。



SHEET 01 コンピュータの5大装置

1. コンピュータの5大装置



CPU

制御装置と演算装置の2つの役割、複雑な計算の処理が得意

GPU

画像処理装置

単純な計算の大処理が得意、ディープラーニングにも使われる

処理能力の示し方

MIPS

1秒間に何百万回実行できるか 1命令の実行に必要なクロック数

FLOPS

1秒間に何回 浮動小数点演算ができるか

CPI

1命令の実行に必要なクロック数

クロック周波数

CPUが作動するリズム、動作する速度

バス

各機器をつなぐバス

データ伝送路

PCI

バスの規格

最近は PCI Express

ブリッジ

バス

プリンタ

…

入力装置

命令やデータを入力

キーボード

マウス

タッチパッド

スピーカー

マイク

カメラ

タブレット

スマートフォン

NG

OK

優先順位表示

独学の方でも、論点ごとの重要度がわかります。時間のない方はまず「超重要」から！

※詳しくはP.008参照



優先度は3段階！

TXT
01

コンピュータの5大装置

1. コンピュータの5大装置

コンピュータは入力装置により命令やデータが入力され、記憶装置（補助記憶装置）に保存されているデータを主記憶装置にロードし、読み込んだデータを演算装置で演算、制御装置で制御し、出力装置で人が認識できるような形で示し、処理結果を記憶装置に保存します。ここで用いられる入力装置、記憶装置、演算装置、制御装置、出力装置の5つをコンピュータの5大装置といいます。

入力装置・出力装置

入力装置はコンピュータへの命令やデータを入力する装置です。代表的なものにキーボードやマウス、タッチパッドがあり、入力装置と出力装置が一体となったタッチパネルや、音声による入出力が可能なスマートスピーカー（AIスピーカー）などもあります。タッチパネルの入力方式には、抵抗膜方式や静電容量方式、赤外線方式などがあります。

抵抗膜方式は、少し古いタイプのATMやOA機器、カーナビなどで使われている、表面のフィルムとガラス面の間にある電極の電圧の変化で位置を検知する方式です。安価で手袋をしたままでも使えますが、耐衝撃性や耐久性が低いです。

静電容量方式は、スマホなどで使われている、画面を指で触れたときに生じる微弱な電流変化を検知する方式で、比較的高価ですが、耐衝撃性や耐久性が高く、複数の点が検知可能です。

赤外線方式は、屋内の券売機や業務用ゲーム機器などで使われている、指先で触れた部分で赤外線が遮られる中断点を捉えて位置を検出する方式です。比較的大型のタッチパネルに向いていますが、屋外では日光や雨、埃などにより検出エラーが生じやすくなっています。

抵抗膜方式は複数点同時操作はできませんが、静電容量方式、赤外線方式では複数点同時操作が可能です。

出力装置は、コンピュータが処理した情報を人が認識できる形で示す装置で、ディスプレイやプリンタ、音声応答装置などがあります。ディスプレイには、比較的安価な液晶ディスプレイや視認性の高い有機ELディスプレイなどの装置があります。

記憶装置

記憶装置には、演算装置とデータをやり取りする際に用いられる揮発性の主記憶装置（メインメモリ）と、データを長期的に保存するために用いられるHDD（Hard Disk Drive）やSSD（Solid State Drive）などの不揮発性の補助記憶装置があります。揮発性とは電源を切るとデータが消えてしまう性質のこと、不揮発性とは電源を切ってもデータが保存される性質のことです。

第1章
はじめに

第2章
基礎知識

第3章
基礎知識

IEEE1284
第4章
情報

第5章
中小

189

かみ砕いた表現の口語調テキスト

テキスト部分はわかりやすさを重視した語りかけるような表現になっています。シリーズ教材の音声教材（別売）を使えば、耳からのインプットも可能です。



覚えにくい所は語呂合わせ

「ここ、なかなか覚えられないんだよな…」、「なんかいつもごっちゃになっちゃう」そんな所には、ゴロ合わせが！ クスッと笑えるくだらないものもありますが、意外とそんな方が頭に残ったりします。



得点力UPのコツ

「勉強のプロ」が試験で得点を取りやすくするためのテクニックも伝授します。

すぐやる！過去問コーナー

知識を効率よく定着させるには、インプット学習の直後にアウトプット学習を行うのが効果的！ 「すぐやる！過去問コーナー」では関連過去問をレベル別に紹介しています。

論点別過去問集

QRコードを読み取れば、すぐに関連過去問をチェックできます。

※問題のみ。解説はブログをご参照ください

なお、電源を入れたまま周辺機器の着脱ができる機能のことをホットプラグといいます。

■ コンピュータの5大装置
レベル1 R7-1, R3-1, R2-1, R1-1, H30-1, H29-2, H28-1
レベル2 R6-1, R4-1, H29-1, H29-3



191

まとめシートの効果的な使い方

YouTubeでも
解説しています



YouTube
「まとめシート流！絶対合格チャンネル」

まとめシートの使い方

まとめシートの使い方

①まとめシートを眺める

どんなことが書いてありそうか
自分なりにストーリーを頭に描く



②テキスト部分を読む

①でイメージしたことの
答え合わせのつもりで読む



③もう一度まとめシートを見る



④問題を解く

重要！

テキストの内容を思い出しながら
もう一度見る

「すぐやる！過去問コーナー」の問題で
知識の使い方を知り、知識を定着させる

スキマ時間を活用

購入特典PDFをスマホなどに入れて、
スキマ時間に眺めて記憶を定着させる

シリーズ
教材
(別売)

チェックテスト

1科目の学習が終わるごとにチェックテストで理解度を確認
独学の方の学習のマイルストンにも！

音声教材

通勤中や家事・育児の最中、
運動中のながら学習で時間を有効に活用

※シリーズ教材に関しては卷末の案内もご覧ください



ツールを活用しよう

スマホに入れてスキマ時間の有効活用！

【購入特典 まとめシートPDF】

購入特典として、まとめシートHPより
まとめシートのPDFデータがダウンロード可能



購入特典ダウンロード用ページ



問題の使い方を知り、アウトプットで知識を定着

【すぐやる！過去問コーナーと「論点別過去問集】

まとめシートで学習した論点に関連の深い過去問を掲載

レベル1

みんなが解ける
簡単～普通レベルの問題

レベル2

応用が必要な
やや難しいレベルの問題

レベル3

解けなくとも仕方がない
非常に難しいレベルの問題

購入特典として、まとめシートHPより

「論点別過去問集」のデータがダウンロード可能

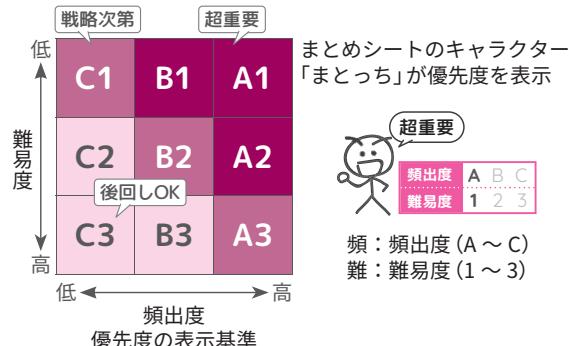
テキストの最後に
掲載

2次元コードで
問題をチェック

掲載せず

独学者の強い味方！ どこに力を入れればいいかがすぐわかる

【難易度×頻出度を踏まえた優先順位表示】



知識の定着に

【暗記カード用データ(情報、中小)】

経営情報システム、中小企業経営・中小企業政策は、
暗記カード用データを活用しよう！

単語カードアプリなどに入れて、知識の定着に



初心者・独学者必見！勉強法の参考に

【勉強法がわかるコラム】

合間には勉強法など試験対策に
役立つコラムを掲載



まとめシートの使い方

本書は、各論点の内容を1論点1枚のシートにまとめた「**まとめシート**」と、それを解説した**テキスト**によって構成されています。テキストでは、まとめシートに書かれている内容の理解が深まるよう説明を加えています。

まとめシートを効果的に活用するには、まずはまとめシートを眺め、どんなことが書いてありそうか自分なりにストーリーを頭に描いてみてください。次に、テキストを読むにあたり、最初にイメージしたストーリーの答え合わせのつもりで読んでいきましょう。テキストを読み終わったら、テキストの内容を思い出しながらもう一度まとめシートを読んでいきます。そして、テキストとまとめシートで大枠を把握したら、早速「**すぐやる！過去問コーナー**」（後述）に掲載されている過去問にトライしましょう。このとき、まだ内容は覚えていなくてもOKです。まとめシートを手元に置きながら、実際の問題ではまとめシートに書いてある知識がどのように問われているのかということを確認し、実際の問題と知識の紐付けを行っていきましょう。一度学習した後も、購入特典のまとめシートPDFをスマホなどに入れ、スキマ時間に眺めることで知識を定着させます。

また、本書とは別売りとなりますが、**チェックテスト**や**音声教材**を活用いただくとより効率的に学習することができます。**チェックテスト**は、1科目の学習が終わったタイミングで活用いただければ、その科目の理解度を確認することができます。**音声教材**は、本書の内容を読み上げたもので、耳からのインプットの方が頭に入りやすい方や、ながら学習に活用したい方におすすめです。

なお、まとめシートの効果的な使い方については、YouTubeチャンネル「**まとめシート流！絶対合格チャンネル**」でもご紹介していますので、そちらもご参照いただけると幸いです。

また、まだ診断士試験を受験しようかどうか迷っている段階の方は、まずはまとめシートを眺めてみて、興味のある分野からテキストを読み進め、診断士試験ではどのようなことを学ぶのかを把握してみてください。その上で、この資格に挑戦するために自分の時間を割く価値はあるかを検討していただければと思います。願わくは、本書が中小企業診断士の世界への挑戦のきっかけとなりますように。

ツールを活用しよう

購入特典 まとめシート PDF

本書は購入特典として、**まとめシートのPDFデータがダウンロードできます**。このPDFデータをご自身のスマートフォンやタブレットに保存していただければ、スキマ時間にいつでもまとめシートを眺めることができます。筆者も受験生時代は、電車での通勤時間や、ちょっととした待ち時間など、暇

さえあればまとめシートを眺めていました。まとめシートはイラストや図を多く使用していますので、何度も眺めているうちに「あれはまとめシートのあの部分に書いてあった」と、ビジュアルで知識を思い出すことができるようになります。

ぜひすぐに取り出せるところにまとめシートを準備し、スキマ時間を有効活用して知識を定着させましょう。過去問を解きながら、追加的に覚えた知識を余白に書き込んでいくのも良い対策となります。なお、**購入特典のダウンロード方法は巻末の特典案内ページに記載しております**のでそちらをご参照ください。

難易度×頻出度を踏まえた優先順位表示

1次試験の試験範囲は非常に広いため、特に重要な論点を優先順位付けしながら学習していくことが重要です。といっても、初学者や独学者の方にとってどこが重要な論点なのかという判断も難しいかと思います。

試験における重要度は得点の取りやすさという観点から頻出度と難易度を踏まえて「超重要」、「戦略次第」、「後回しOK」の3つに分類しました。重要度に頻度だけでなく難易度という観点を入れたのは、勉強に投入する時間がどれだけ得点に結び付きやすいかという点が効率面で重要となってくるからです。

例えば、経営情報システムでは統計解析の問題が1問もしくは2問出題されることがあります。しかし、この分野を真面目に勉強しようとすると1科目分くらいあるのではと思うほどのボリュームがある上、例年非常に難易度が高いため、多くの受験生が鉛筆転がしでマークを塗りつぶしているような状況です。勉強時間に対する獲得得点というタイムパフォーマンスで考えると、高い難易度の論点に時間を割くくらいであれば、頻出度は若干落ちますが、解きやすい問題が多い論点に時間を投入した方が効率的だといえます。

そのため、本書では平成28年～令和7年までの10年分の過去問を著者がすべて解き、論点毎に**頻出度をA～Cに**、**難易度をレベル1～3に**分類しました。そして、それらを踏まえ、よく出題されて難易度も高くない論点を「超重要」、頻出度が低く難易度が高い論点を「後回し」、最優先でも後回しでもない論点を「戦略次第」としました。

この難易度は、各論点のテキストの右上でまとめシートのキャラクターの「まとっち」が示してくれていますので、勉強の優先順位付けをする際の参考としてください。



すぐやる！過去問コーナーと購入特典「論点別過去問集」

テキストの最後には、学習した知識をアウトプットして定着させられるようにするために「**すぐやる！過去問コーナー**」を設けました。

「すぐやる！過去問コーナー」では、その論点を勉強したら解いてほしい過去問をピックアップし

ましたので、ぜひ解いてみてください。なお、紹介する過去問は難易度別にレベル分けをしています。

レベル1の問題は、みんなが得点できるレベルの、テキストに書いてあることをそのまま使ったり、少し応用すれば解ける簡単～普通レベルの問題です。

レベル2の問題は、テキストに書いてあることから応用が必要であったり、ちょっとマニアックな知識が要求されるやや難しいレベルの問題です。

レベル3の問題は、解けなくても仕方がないような非常に難しいレベルの問題です。

分類の際はレベル3まで分類しましたが、レベル3はみんなが解けない、もしくはマニアック過ぎて解けなくても仕方がない問題ですので、「すぐやる！ 過去問コーナー」にはあえて掲載していません。すぐやる！ 過去問コーナーに挑戦される場合、まずはテキストを読み、レベル1に挑戦してみてください。そして、ある程度慣れたらレベル2に挑戦してみてください。

なお、該当する過去問をその都度探すのは大変かと思いますので、今回は購入特典として、本書に掲載の「すぐやる！ 過去問コーナー」で紹介した過去問を論点別に並び替えた論点別過去問集をご用意しました。**論点別過去問集のダウンロード方法は、まとめシートPDF版と同様に巻末の特典案内ページに記載しています。**問題のみで解説はありませんが、読者サービスとしてまとめシートHP(<https://www.matome-sheet.com/>)ブログで1日1問過去問の解説をしていますので、解説済みの問題はそちらを参照されるのも良いでしょう。

また、「すぐやる！ 過去問コーナー」の横にある二次元コードをスマホで読み取ると、その論点の過去問集PDFをすぐに見ることができます。まとめシートを読んで、このすぐやる！ 過去問コーナーの問題でアウトプットすることで知識をより定着させることができます。

勉強法がわかるコラム

各シートの合間に、各科目の勉強法や勉強計画の立て方、試験対策などに役立つコラムもご用意しました。勉強の合間にご覧いただき、勉強法を見直す際の参考としてください。

暗記カード用データで知識の定着(情報、中小)

暗記系科目である経営情報システムと中小企業経営・中小企業政策は、暗記カード用データも購入特典として用意しました。こちらのデータをお使いの単語カードアプリなどに入れていただきますと、暗記に活用することができます。

第2章

経済学・経済政策

経済学・経済政策

経済学は、現実の経済をモデル化して分析することで、現実の経済現象を説明しようという学問です。経済学は大きく個々の企業や個々の消費者、ある特定の財の市場について分析する**ミクロ経済学**と国全体の経済を分析する**マクロ経済学**の2つの分野に分かれます。

ミクロ経済学では、まず、個々の企業の行動を理解するため、企業は生産量をどのように決めるのかについて分析します。企業の行動を分析することで供給曲線を、消費者の行動を分析することで需要曲線を導くことができます。

これらの需要曲線、供給曲線を使うことで、完全競争市場において価格や生産量がどのように決定されるのかということが説明できます。ただし、実際の経済では、様々な要因により完全競争市場が実現されない場合も多くあります。そのため、完全競争市場でない場合には、価格や生産量はどのように決定されるのかについても学びます。さらに、市場の動きに任せても最適な資源配分がなされない市場の失敗についても学びます。

マクロ経済学では、国全体の経済を分析します。国全体の経済では、財市場、貨幣市場、労働市場の3つがお互いに影響を与えながら、国民所得(GDP)が決まっていきます。

そのため、マクロ経済学の分野では、まずは国民所得とは何かということについて学び、財市場、貨幣市場それぞれの動きを学んだ後、財市場と貨幣市場を同時に分析するIS-LM分析について学びます。さらに、財市場、貨幣市場に労働市場も考慮したAD-AS分析について学びます。また、国内だけでなく海外の影響も考慮したIS-LM-BP分析や、他のマクロ経済学の諸理論についても学びます。

まとめシート

ミクロ経済

SHEET 01 ~ 08



個々の企業や個々の消費者、
ある特定の財の市場について分析する

マクロ経済

SHEET 09 ~ 17



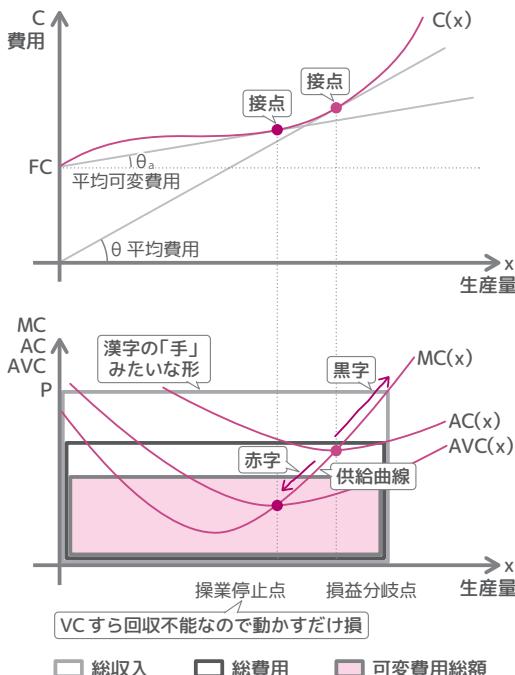
国全体の経済を分析する

SHEET 00	最低限覚えてほしい経済学で使う数学	012
SHEET 01	費用関数と生産関数	018
SHEET 02	無差別曲線	024
SHEET 03	需要曲線と供給曲線	028
SHEET 04	スルツキー分解	032
	COLUMN 1 経済学の勉強方法	035
SHEET 05	余剰分析	036
SHEET 06	独占・自然独占・寡占	040
SHEET 07	ゲーム理論・比較優位	044
SHEET 08	市場の失敗	048
SHEET 09	GDPと物価	052
SHEET 10	経済統計	058
SHEET 11	45度線分析・乗数理論	062
SHEET 12	貨幣供給と貨幣需要	066
SHEET 13	IS-LM分析	070
SHEET 14	AD-AS分析	076
SHEET 15	マンデル・フレミングモデル	080
SHEET 16	マクロ経済学の諸理論①	084
SHEET 17	マクロ経済学の諸理論②	088

SHEET 01

費用関数と生産関数

費用関数



費用関数

費用の変化を3次関数で近似すると下記の通り

関数	式	3次関数で表した場合
費用関数	$C(x)$	$ax^3 + bx^2 + cx + d$
可変費用	$VC(x)$	$ax^3 + bx^2 + cx$
固定費用	FC	d
平均費用	$AC(x) = \frac{C(x)}{x}$	$\frac{ax^3 + bx^2 + cx + d}{x}$
平均可変費用	$AVC(x) = \frac{VC(x)}{x}$	$\frac{ax^3 + bx^2 + cx}{x}$
限界費用	$MC(x) = C'(x)$	$3ax^2 + 2bx + c$

利潤最大化の条件

企業は利潤 $\Pi(x)$ を最大化しようとする

売上 $R(x) = P \cdot x$ のとき \times (かける)を「と」表記する場合もある

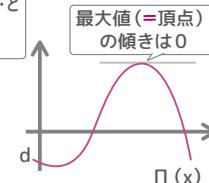
$$\begin{aligned} \Pi(x) &= R(x) - C(x) \\ &= P \cdot x - (ax^3 + bx^2 + cx + d) \end{aligned}$$

$\Pi(x)$ が最大となる点は $\Pi'(x) = 0$ となる点

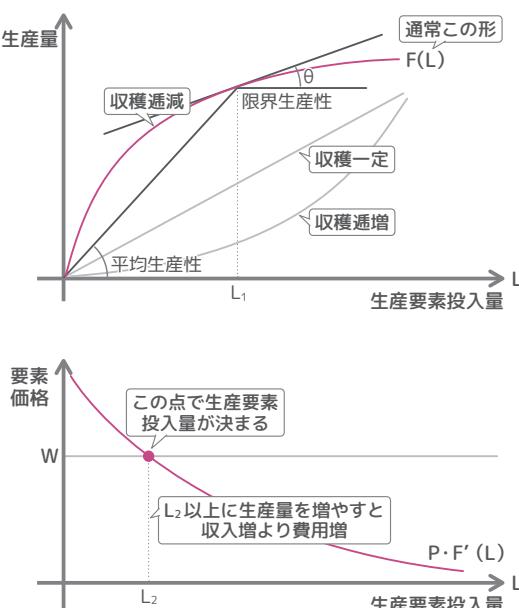
$$\rightarrow \Pi'(x) = R'(x) - C'(x) = 0$$

$$\rightarrow P = MC(x)$$

企業は $MC(x) = P$ となる x だけ生産を行う



生産関数



F(L) : 生産関数

生産要素投入量 L のときの生産量を表す関数

収穫遞減 : 徐々に限界生産性が低下

収穫递增 : 徐々に限界生産性が上昇

収穫一定 : 限界生産性が一定

利潤最大化の条件

企業は利潤 $\Pi(L)$ を最大化しようとする

$$\Pi(L) = P \cdot F(L) - w \cdot L$$

費用 : $w \cdot L$ w : 要素価格 (時給など)

収入 : $P \cdot F(L)$ P : 価格

利潤が最大になるのは、 $\Pi'(L) = 0$ のときなので

$$\Pi'(L) = P \cdot F'(L) - w = 0$$

よって

$$P \cdot F'(L) = w$$

この式を満たす L を限界生産量 L^* と呼ぶ



01

費用関数と生産関数



超重要

頻出度	A	B	C
難易度	1	2	3

費用関数

企業が生産活動を行う場合、利潤を最大にするように行動します。利潤とは企業の利益のことで、財務・会計でも学んだ通り、利益=売上-費用と表せます。財務・会計のCVP分析では費用を固定費と売上に比例した変動費の和として直線で表しましたが、経済学ではもう少し突っ込んで考えます。その上で、企業が利潤を最大化するためには生産量をどの程度にすることが最適なのかについて考えることが、費用関数を使った分析の目的です。

費用関数

経済学では、固定費のことを**固定費用**(FC: Fixed Cost)、変動費のことを**可変費用**(VC: Variable Cost)といい、財務・会計の場合と同様に、費用を生産量に左右されない固定費用と、生産量によって変化する可変費用の和として表します。経済学の場合、生産量xと費用C(x)の関係は図1-1のようなグラフで表します。生産量xによって費用C(x)が変化するため、費用C(x)のことを**費用関数**といいます。

費用C(x)のグラフの切片FCとは固定費用のことで、それに逆S字カーブを描く可変費用が乗っかっているグラフです。生産量xが少ないとときは生産量が増えるにつれ、経験曲線効果で徐々に生産性が上がってくるため、生産量の増加に対して費用の増加が緩やかになり、最初は急だったグラフの傾きが緩やかになってきます。そして、ある一定以上の生産量となると、今度は機械も作業員もいっぱいになってしまふため、効率が低下してしまい、生産量の増加分よりも費用の増加分の方が大きくなってしまいます。

そのため、生産量xに対する費用関数C(x)は逆S字型のカーブを描くと考えます。

ミクロ経済学では、この費用の関数C(x)を以下のような3次関数で表す場合が多いです。

$$C(x) = ax^3 + bx^2 + cx + d \quad \dots ①$$

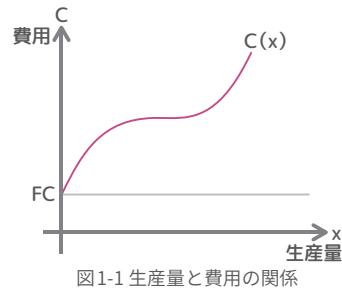


図1-1 生産量と費用の関係

可変費用、固定費用

生産量xと費用C(x)が①式で表せる場合、**固定費用**はxに関係なく一定の値をとる費用ですので、①式の中でxが入っていない部分を固定費用FCと置くと、以下のように表せます。

$$FC = d \quad \dots ②$$

可変費用は生産量xの変化にともなって変化する費用なので、①式の中でxが入っている部分を可変費用VC(x)と置くと、以下のように表せます。

$$VC(x) = ax^3 + bx^2 + cx \quad \cdots ③$$

平均費用、平均可変費用

平均費用とはある製品をx個作るのにかかった費用の平均のことで、例えばある製品をx個作るのに必要な費用が関数 $C(x) = x^3 - 2x^2 + 6x + 10$ として表せる場合、製品を10個作るのにかかる費用は全部で $C(10) = 10^3 - 2 \times 10^2 + 6 \times 10 + 10 = 870$ です。製品1個当たりの平均費用は、 $870/10 = 87$ であるため、87となります。

このように、生産量がxのときの平均費用 $AC(x)$ は、費用 $C(x)$ を生産量xで割った値として以下の式で表せます。

$$AC(x) = \frac{C(x)}{x} = ax^2 + bx + c + \frac{d}{x} \quad \cdots ④$$

また、**平均可変費用**とは、生産量がxのときの可変費用の平均のことで、生産量がxのときの平均可変費用 $AVC(x)$ は、可変費用 $VC(x)$ を生産量xで割った、以下の式で表せます。

$$AVC(x) = \frac{VC(x)}{x} = ax^2 + bx + c \quad \cdots ⑤$$

平均費用の式は④、平均可変費用の式は⑤の通りですが、それぞれ費用関数 $C(x)$ との関係を見ておきます。

平均費用は④式より、 $C(x)/x$ と表せます。

原点から $C(x)$ 上の点 $(x, C(x))$ に引いた直線の傾き θ (シータ) は、 $C(x)/x$ です。グラフで考えた場合、平均費用は原点から $C(x)$ 上の点 $(x, C(x))$ に引いた直線の傾きであるといえます。図1-2の通り、傾き θ は x が x_2 より小さい場合 (x_2 より左側) は、 x が大きくなるにつれ、徐々に緩やかになっていきます。

そして、図1-2の x_2 のように、**原点から $C(x)$ に引いた直線が $C(x)$ の接線となる点で θ は最も緩やか** になり、その後 x が大きくなるにつれ (x_2 より右側)、傾きは再び急になっていきます。(感覚がつかめない場合は、グラフの上にペンを置き、自分で x の位置を変化させながら確認してみましょう。)

同様に、平均可変費用の場合、可変費用 $VC(x)$ は費用 $C(x)$ から固定費用 FC を引いた値ですので、図1-3の θ_a のように表せます。

そして、平均費用の場合と同様、傾き θ_a は x が大きくなるにつれ徐々に小さくなり、**切片から $C(x)$ に引いた直線が $C(x)$ の接線となる点で θ_a は最小** となり、その後 x が大きくなるにつれ、傾きは再び増加します。

それでは、この平均費用 $AC(x)$ と平均可変費用 $AVC(x)$ をグラフにした場合を考えてみましょう。

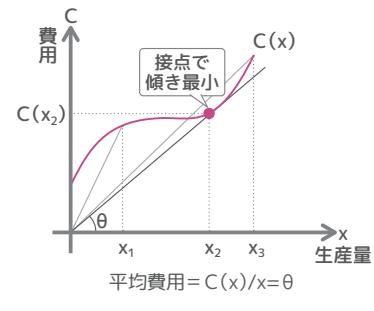


図1-2 平均費用

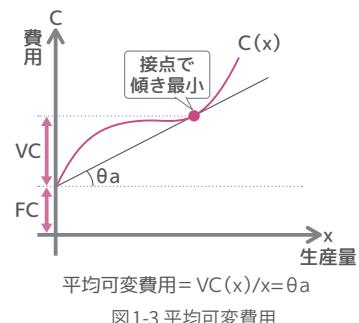


図1-3 平均可変費用

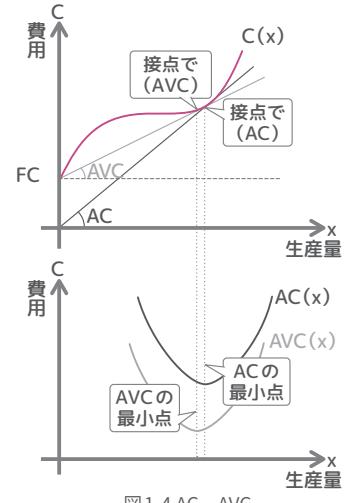


図1-4 AC、AVC

④式、⑤式より、 $AC(x)$ と $AVC(x)$ のグラフは図1-4の下のグラフのようにそれぞれ下に凸のグラフとして表せます。 $AC(x)$ が最小となるのは原点から $C(x)$ に引いた直線が $C(x)$ に接するとき、 $AVC(x)$ が最小となるのは切片から $C(x)$ に引いた直線が $C(x)$ に接するときです。そのため、下に凸のグラフはその点が最小点となります。

なお、④式と⑤式を見比べると、④式は⑤式 $+d/x$ という形になっていますので、 $x > 0$ の場合は常に④式 $>$ ⑤式が成り立ちます。

つまり、同じ生産量 x のとき、平均費用は常に平均可変費用より大きくなります。

限界費用

限界費用とは、生産量が1単位増加するときにかかる追加的な費用のことをいいます。

ある生産量 x 時点の限界費用 $MC(x)$ は、その時点での費用関数の接線の傾きを求めたものとしても表すことができます。費用関数が①式のとき、以下のように表せます。

$$MC(x) = C'(x) = 3ax^2 + 2bx + c \quad \cdots(6)$$

⑥式の $C'(x)$ とは、 $C(x)$ の**微分**を表します。

ここで、微分という考え方が出てきましたが、微分の方法については[SHEET 00] **最低限覚えてほしい経済学で使う数学**で説明しているので、そちらも参照してください。

利潤最大化の条件

ここまで様々な費用の考え方について説明してきましたが、ここで企業の利潤を最大とするための条件について考えてみましょう。冒頭の説明の通り、利潤は売上と費用の差として表せます。

価格が P 、生産量が x のときの売上 $R(x)$ は、価格と生産量の積として、以下の式で表せます。

$$R(x) = P \cdot x \quad \cdots(7)$$

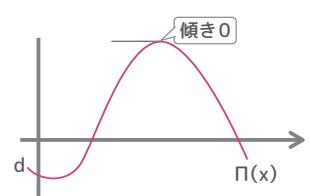
(参考：かけるの記号(\times)を・と表す場合もあります)

費用が19ページの①式で表せるとき、利潤 $\Pi(x)$ は、⑦式-①式なので、以下の式で表せます。

$$\Pi(x) = R(x) - C(x) = P \cdot x - (ax^3 + bx^2 + cx + d) \quad \cdots(8)$$

これより、利潤 $\Pi(x)$ は図1-5のような3次関数のグラフで表せます。利潤を最大にする点とは、 $\Pi(x)$ が最大となる点ですので、図1-5のグラフでいうと上に凸になった部分の頂点です。頂点では接線の傾きは0になります。

つまり、利潤が最大となるのは $\Pi(x)$ を微分して傾きを求めたとき、その値が0となる点です。

図1-5 利潤 $\Pi(x)$

よって、 $\Pi'(x) = R'(x) - C'(x) = 0$ であり、 $R'(x) = P$ 、 $C'(x) = MC(x)$ となりますので、利潤が最大になる条件は、 $R'(x) = C'(x)$ つまり、以下の式で表せます。

$$P = MC(x) \quad \dots ⑨$$

⑨式を言い換えると、企業は限界費用=価格となる生産量を生産するとき、利潤が最大になります。そのため、利潤を最大化したい企業は生産量を限界費用=価格となる量として生産します。

利潤

利潤最大の条件をグラフにするとどうなるでしょうか。

図1-6は、生産量xに対するMC(x)、AC(x)、AVC(x)のグラフです。(AC(x)とAVC(x)は図1-4と同じものです。)

右図に示す通り、限界費用曲線MC(x)は、平均費用曲線AC(x)、平均可変費用曲線AVC(x)の最小点を通っています。

これは、前述の通りAC(x)、AVC(x)はそれぞれ、原点、切片からC(x)に引いた直線がC(x)に接するときに最小となり、限界費用MC(x)は生産量xにおける費用曲線C(x)

の接線の傾きを表し、AC(x)、AVC(x)が最小となるときの接線も含まれるためです。

MC(x)、AC(x)、AVC(x)の3つのグラフを描くと漢字の「手」のような形になります。このグラフを描く場合は、①限界費用曲線MC(x)を描き、②MC(x)との交点が最小の値となるようなAVC(x)を描き、③AVC(x)の上にMC(x)との交点が最小の値となるようなAC(x)を描きます。

このグラフで考えると、企業は $MC(x) = P$ となる生産量だけ生産を行いますので、企業の総収入は $P \times x$ となり図の「総収入」の枠で囲った面積の分となります。また、総費用は $MC(x) = P$ となるxのときの1単位当たりの平均費用(図1-6の P_1)に生産量xを掛けたもので、図1-6の「総費用」の枠で囲った面積です。同様に可変費用の総額は、図1-6の「可変費用総額」の枠で囲った面積です。

次にPが変化した場合を考えてみましょう。 $MC(x) = P$ となるPがACよりも大きいときは、黒字になりましたが、もし $MC(x) = P$ となるPがACよりも小さくなつた場合はどうでしょうか。この場合は、総収入<総費用となるため、赤字となります。そのため、MCとACの交点は赤字と黒字の分かれ目、つまり**損益分岐点**となります。

さらにPが小さくなり、 $MC(x) = P$ となる生産量がAVCよりも小さくなつた場合はどうでしょうか。図1-6で考えると、このときは総収入が可変費用総額を下回ることになります。このとき、固定費用はもちろん可変費用すら回収できなくなるので、企業は生産するだけ赤字が拡大することになり、操業を止めた方が得になります。そのため、MCとAVCの交点は操業をするかどうかの分かれ目、つまり**操業停止点**となります。なお、価格と企業の製品の供給量を表した**供給曲線**はこの限界費用曲線の右上がりの部分のうち、操業停止点より価格が上の部分を簡略化して表現したもので、製品の価格が上がれば企業は生産量を増やすといった関係を示すことができます。

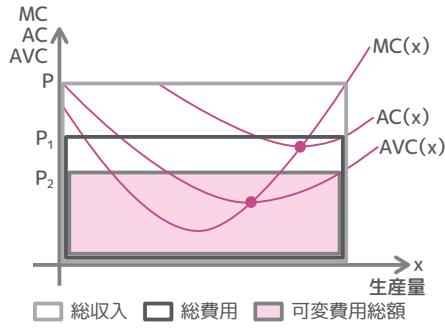


図1-6 生産量xに対するMC(x)、AC(x)、AVC(x)

生産関数



頻出度 A B C
難易度 1 2 3

費用の観点以外にも生産性の観点から企業の利潤最大化条件を求めるアプローチもあります。

労働時間や設備といった生産のために必要な要素である**生産要素投入量**を L と置き、 L に対して生産される**生産量**を $F(L)$ と置くと、 $F(L)$ は図1-7のように表される場合が多いです。生産要素投入量が L のときの $F(L)$ 上の点から原点に引いた直線の傾き($=F(L)/L$)を**平均生産性**、 $F(L)$ の接線の傾き、つまり $F(L)$ の微分($=F'(L)$)を**限界生産性**といいます。なお、この図の場合、 L が大きくなるにつれ接線の傾きは緩やかになっています。これは言い換えると、限界生産性が徐々に低下しているともいえます。

このように徐々に限界生産性が低下することを**収穫遞減**といいます。また逆に、限界生産性が徐々に増加することを**収穫递増**、限界生産性が一定のことを**収穫一定**といいます。

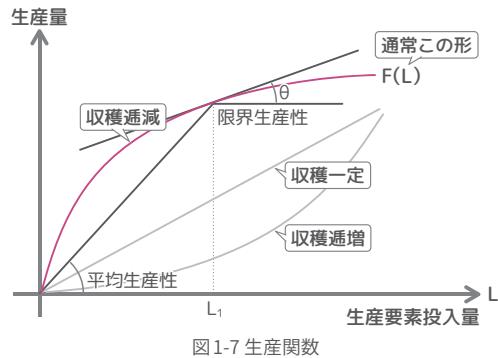


図1-7 生産関数

利潤最大化の条件

次に生産性の観点から、利潤最大化の条件について考えていきます。生産要素投入量を L 、生産量を $F(L)$ と置きます。時給など生産要素1単位当たりに必要となる価格を**要素価格**といい、要素価格を w と一定の値と置くと、生産にかかる費用は生産要素投入量と要素価格の積として $w \times L$ で表すことができます。それに対し、収入 $R(L)$ は価格を P と置くと、価格と生産量の積として $R(L) = P \times F(L)$ と表せます。よって、利潤 $\Pi(L)$ は $\Pi(L) = R(L) - C(L) = P \cdot F(L) - w \cdot L$ と表せます。企業は利潤最大化のため $\Pi(L)$ を最大化する L だけ生産要素を投入しようとします。

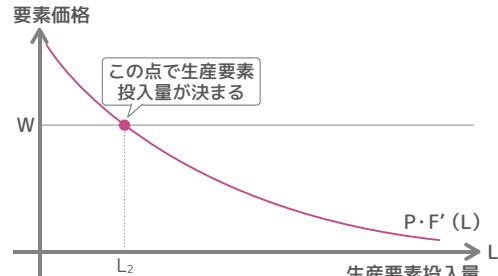


図1-8 限界生産物価値のグラフ

費用の観点で考えた場合と同様、 $\Pi(L)$ が最大となるのは $\Pi(L)$ の傾きが0になるときです。 $\Pi'(L) = 0$ のときです。このとき、 $\Pi'(L) = R'(L) - C'(L) = P \cdot F'(L) - w = 0$ と表せるため、利潤が最大となるのは、 $P \cdot F'(L) = w$ のときです。なお、 $P \cdot F'(L)$ を**限界生産物価値**といいます。

生産性の観点から見た利潤最大化の条件は、限界生産物価値が要素価格と等しくなるときです。生産要素投入量 L に対する限界生産物価値のグラフで表した場合、図1-8のように、 L は限界生産物価値 $P \cdot F'(L)$ と w の交点として定めることができます。

すぐやる! 過去問コ一ナード

■ 費用関数

レベル1 R7-15(2), R6-16(2), R5再-16, R5-14, R4-15(1), R1-16, H30-19, H29-14

レベル2 R7-15(1), R6-16(1), R4-15(2)

■ 生産関数

レベル1 R2-16, R1-14

レベル2 R5再-17, H28-20, H28-21



第3章

経営法務

経営法務の概要

経営法務では、中小企業診断士が中小企業の経営者や中小企業を立ち上げようとしている人に助言を行う際に身につけておく必要のある、企業経営に関する法律や制度、手続などに関する知識が求められます。

具体的な出題範囲としては、大きく分けて会社法、知的財産関連、民法・その他の3つの分野から出題されます。

会社法とは、文字通り会社を対象とした法律で、会社の設立や機関設計、株式・社債などの資金調達、組織再編など、会社に関連した内容について学びます。

知的財産関連では、特許権、実用新案権、意匠権、商標権といった産業財産権や著作権などについて学びます。

民法・その他では、民法で規定されている権利や、契約、相続について学びます。また、民法以外にも国際取引に関するルール、その他中小企業診断士試験で問われる可能性のある法律についても掲載しています。

上記の分野のうち、会社法と知的財産関連の分野は出題比率が高く、問われる論点もある程度限られています。そのため、まずはこの2つの論点をしっかりと押さえ、民法・その他は後回しにして学習すると効率的です。

なお、このテキストは試験対策上必要な知識をできるだけざっくりとかみ碎いて説明することを目的としており、法律上厳密には正しくない表現が含まれている可能性があります。そのため、あくまでも試験対策上の解説であるという点を留意して利用いただければと思います。

まとめシート

会社法

SHEET 01 ~ 08



会社の設立や機関設計、組織再編など会社関連の法律

知的財産 関連

SHEET 09 ~ 13



特許権、商標権などの
産業財産権や著作権

民法・ その他

SHEET 14 ~ 20

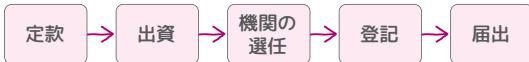


民法で規定されている権利や、
契約、相続、国際取引

SHEET 01	会社設立	094
SHEET 02	株式会社の機関設計	098
SHEET 03	株式会社の機関の詳細①	104
SHEET 04	株式会社の機関の詳細②	108
SHEET 05	資金調達	112
SHEET 06	組織再編	118
	COLUMN 2 経営法務の学習方法	123
SHEET 07	持分会社と組合・株式市場	124
	COLUMN 3 科目合格制度と「1.5年計画」	129
SHEET 08	倒産	130
SHEET 09	産業財産権①	134
SHEET 10	産業財産権②	140
SHEET 11	産業財産権③	146
SHEET 12	著作権	150
SHEET 13	不正競争防止法、独占禁止法	154
SHEET 14	民法の基礎知識	158
SHEET 15	民法総則	162
SHEET 16	債権と物権	166
SHEET 17	契約	170
SHEET 18	相続	174
SHEET 19	国際取引など	178
SHEET 20	その他の法律・契約	182

SHEET 01 会社設立

1. 会社設立時の流れ



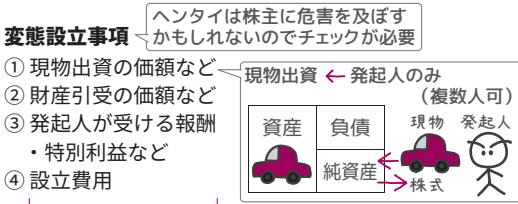
2. 定款 会社の憲法みたいなもの

原始定款 ←電子化可能 現行定款

会社設立時に作成され、現時点で効力を持っている定款
変更には株主総会の特別決議が必要

絶対的記載事項 ←ないと定款全体が無効

- ① 目的：会社の事業内容
- ② 商号
- ③ 本店の所在地 ←同一商号かつ、同一住所はX
- ④ 設立に際して出資される財産の価額またはその最低額
- ⑤ 発起人の氏名または名称および住所 ←発起人は法人でもOK
- ⑥ 発行可能株式総数



裁判所に検査役選任の
申立てが必要

検査役選任の申立てが不要な場合

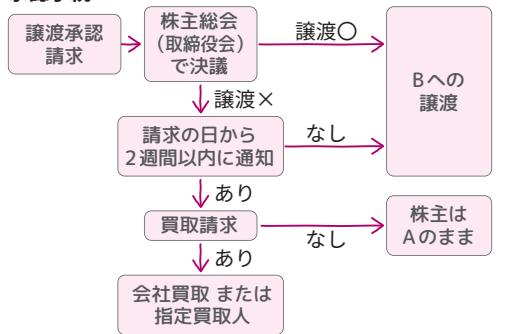
現物出資 or 財産引受の時

- ① 総額が500万円以下の時 ←安いからいいや
- ② 市場価格のある有価証券 ←わかるからいいよ
- ③ 弁護士 or 公認会計士 or 税理士
(不動産の時は↑の人 + 不動産鑑定士) ←ちゃんとした人が証明したならいいよ

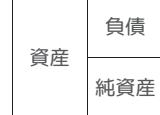
参考 / 譲渡制限株式 ←定款で定める

株式を譲渡する時に会社の承認が必要な株式
全株式が譲渡制限株式の会社を「非公開会社」という

承認手続



3. 出資



銀行などが確かに支払われたことを証明
払込金保管証明書
自分のお金だから
不要



複数人でもOK
払込金保管証明書
みんなのお金だから
要

※発起設立でも募集設立でも発起人は1株以上引き受けける

出資者の責任

無限責任 ←上限なし

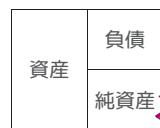
→会社が倒産したら個人の財産まで取られる

有限責任 ←上限あり

→出資した分だけ取られる

直接責任

→弁済義務を直接負う



4. 設立登記

登記しないといけない主な内容

- ① 商号、本店 & 支店の所在地、目的、資本金の額
- ② 発行可能株式総数、発行済株式総数、
発行する株式の内容
- ③ 代表取締役 / 代表執行役：氏名 + 住所
- ④ 取締役：氏名 ←社外であればその旨も
- ⑤ 告示方法
- ⑥ 株式会社の機関設計

✓ 取締役会設置会社である時は、その旨

✓ 監査役設置会社 / 監査役会設置会社である時は、
その旨 + 監査役の氏名など

✓ 会計監査人設置会社である時は、その旨 +
会計監査人の氏名 / 名称

✓ 会計参与設置会社である時は、その旨 +
会計参与の氏名 / 名称 + 計算書類の備置場所

5. 届出

事業開始の時

	何を	いつまでに	どこに
個人事業主	開業届	1か月以内	税務署
法人	法人設立届出書	2か月以内	

従業員を雇用した時

	何を	いつまでに	どこに
労働保険	共通 (1人でも)	保険関係成立届	10日以内 労基署職安
社会保険	個人事業主 (5人～) 法人 (1人～)	新規適用届	5日以内 年金事務所

01

会社設立



頻出度
A B C
難易度
1 2 3

1. 会社設立時の流れ

このシートからは会社法に関する内容について説明します。**会社法**は、会社の設立・解散、株式・社債などの資金調達、会社の機関設計、企業再編など、会社に関する様々なルールを定めた法律です。経営法務では毎年必ず出題される分野ですので、確実に得点につなげられるようにしましょう。

本シートでは会社の設立方法について説明します。会社設立は、まず会社の基本的な内容を定めた**定款**を作成し、会社を運営していく上で必要となる資金の**出資**を募ります。そして、取締役などの機関を選任して設置し、**登記**することで設立されます。会社設立後は、必要な各種の届出を行います。

2. 定款

定款とは、会社の憲法のようなもので、その会社に関する基本的な内容を定めたものです。会社の設立のためには、まず定款の作成が必要となり、**発起人**によって作成された定款は、**公証人**によって**認証**されることで効力を発揮します。なお、法人も発起人となることが可能です。

会社設立時に作成され公証人によって認証された定款を**原始定款**といい電子化が可能です。

一方で会社設立後、内容などの変更がなされ、現時点で効力を持っている定款を**現行定款**といいます。現行定款の変更には株主総会の特別決議が必要です。

定款に記載する内容は、それが書いていないと定款全体が無効になってしまう**絶対的記載事項**と、定款に書かないと効力を発揮させることができない**相対的記載事項**、任意の項目である**任意的記載事項**に分類することができます。

絶対的記載事項に記載しなければいけない内容は、①**会社の目的**(会社の事業内容)、②**商号**(会社の名前)、③**本店の所在地**(本店の住所、ただし、同じ商号の会社を同じ住所に設立することはできません)、④設立に際して出資される財産の価額またはその最低額、⑤**発起人の氏名**または**名称**および**住所**、⑥発行可能株式総数、の6項目です。

なお、上記の①～⑤は公証人の定款認証時に必ず記載が必要で、⑥は会社の成立時までに定款に定める必要があります。

また、**相対的記載事項**のうち、会社の設立に伴い発起人の権限の濫用が生じやすく、特に厳重なチェックが必要となる①**現物出資**の価額など、②**財産引受**の価額など、③発起人が受ける報酬・特別利益など、④設立費用の4つの項目に関しては、**変態設立事項**として定款に記載することが求められています。

①については、発起人(複数人も可能)のみ現物出資可能で、現物出資する者の氏名または名称、当該財産およびその価額ならびに割り当てる株式について記載が必要です。②については、発起人が会社のため、会社の成立を条件として財産を譲り受ける契約をした場合、その財産と価額、譲渡人(発

起人以外も可能)の氏名または名称について記載が必要となります。③については、発起人が利益を取り過ぎてしまうことを防ぐため、会社設立のために発起人が働いた分の報酬やその他利益を受ける場合は記載が求められます。そして、④については、会社設立のために発起人が支払った費用である設立費用について記載しておけば、発起人が成立後の会社に対して請求できます。

なお、変態設立事項がある場合、それらが適切であるかどうかをチェックするため、**検査役**による調査が必要となり、裁判所に検査役選任の申立てをする必要があります。ただし、現物出資もしくは財産引受の場合で下記に該当する場合は検査役の調査が不要となります。

- ① 対象財産の総額が**500万円以下**の時：少額なので不要です。
- ② **対象財産が市場価格のある有価証券**の時：市場の価格がわかるため確認は不要です。
- ③ **弁護士**または**公認会計士**または**税理士**(不動産の時はこれらに加えて**不動産鑑定士**)の証明を受けた時：きちんとした人が正当だと評価しているため確認は不要です。

参考 / 謹渡制限株式

謹渡制限株式とは、株式を謹渡する時は会社に申請し、それが承認されなければ謹渡することができないと定款で定めている株式のことです。なお、全株式が謹渡制限株式の会社は**非公開会社**と呼ばれています。

謹渡しようとする者(A)から譲り受けようとする者(B)に謹渡制限株式を謹渡したい時は、Aもしくは、AとBが共同で会社に対して謹渡承認の請求を行います。請求を受けた会社は、株主総会(取締役会設置会社では取締役会)で謹渡の可否を決議します。なお、取締役会設置会社も定款で定めれば、株主総会で謹渡の可否の決議を行うことができ、謹渡が承認されれば、Bへの謹渡は有効となります。

株主総会(または取締役会)で謹渡が否決された場合、会社はAに請求の日から2週間以内に通知を行う必要があります、もし、通知がなされなかった場合は、AはBへ株式を謹渡することができます。そして、謹渡が否決された場合に、Aがあらかじめ買取請求を行っていれば、Aの株式は会社または指定買取人が買い取り、買取請求が行われていなかった場合は、引き続きAが株主となります。

3. 出資

会社の設立方法には、**発起設立**と**募集設立**という2つの方法があります。

発起設立は、発起人=株主となる場合で発起人は複数でも可能ですが、発起人は最低でも1株は引き受ける必要があります。発起設立の場合、発起人が株主なので、出資されたお金が確実に振り込まれたということを証明する**払込金保管証明書**は不要となります。

募集設立は、会社の設立にあたり、発起人以外の者からも出資を募るものです。ただし、募集設立においても発起人は必ず1株以上の株式を引き受ける必要があります。募集設立の場合、発起人以外のお金も預かることになるため、出資されたお金が確実に振り込まれたということを証明するために、払込金保管証明書が必要となります。

また、出資に際し、出資者の責任のタイプとしては、会社の債権者に対する責任をどこまで負うかという観点から**無限責任**と**有限責任**に、会社の債権者に対して直接弁済義務を負うかという観点から**直接責任**と**間接責任**に分類できます。

無限責任は、会社が倒産した時などに、銀行などの債権者に対し個人の財産まで含めて上限なく責任を負う形式です。それに対し**有限責任**は、会社が倒産した場合などに出資した額を限度として責任を負う形式です。また、**直接責任**は出資者が債権者に対して直接弁済する義務を負っている場合のことと、**間接責任**は、債権者に対する弁済義務は会社が負い、出資者は会社に出資をする形で間接的に弁済義務を負っている場合のことをいいます。

4. 設立登記

設立登記にあたっては、主に以下の内容を登記する必要があります。

①**商号**、本店＆支店の**所在地**、**目的**、**資本金の額**。定款は本店の所在地だけでしたが、登記では支店の所在地も必要となります。②**発行可能株式総数**、**発行済株式総数**、**発行する株式の内容**。発行する株式の内容は、譲渡制限株式など、普通株式ではない形式を探っている場合、その内容も登記する必要があります。③**代表取締役/代表執行役の氏名**と**住所**。④**取締役の氏名**。社外であればその旨も示します。⑤**公告方法**。特に定款で定めていない時は、官報に掲載する公告方法となります。⑥株式会社の機関設計。なお、株式会社の機関設計では、以下の点などを示します。

- ✓ 取締役会設置会社である時はその旨
- ✓ 監査役設置会社、監査役会設置会社のいずれかである時はその旨と監査役の氏名など
- ✓ 会計監査人設置会社の時はその旨と会計監査人の氏名または名称
- ✓ 会計参与設置会社の時はその旨と会計参与の氏名または名称、計算書類の備置場所

5. 届出

事業を開始した時は、個人事業主の場合は**開業届を1か月以内**に、法人の場合は**法人設立届出書を2か月以内に税務署**に提出する必要があります。

また、従業員を雇用した時は、労働保険、社会保険の手続が必要となります。労働保険については、個人事業主も法人も1人でも従業員を雇用した場合、**保険関係成立届を10日以内に労働基準監督署(労基署)**や**公共職業安定所**(職安)に提出する必要があります。社会保険については、個人事業主の場合は5人以上を雇用した時、法人の場合は1人以上を雇用した場合、新規適用届を**5日以内に年金事務所**に提出する必要があります。

すぐやる! 過去問コ一ナ一

■ 会社設立

レベル1 R6-6, R5再-1, R5-5(2), R4-6(2)

レベル2 R7-4, R5-5(1), R2-2



第4章

経営情報システム

経営情報システムの概要

経営情報システムの科目出題分野は、情報通信技術の基礎的知識と経営・管理に関連した情報技術の2つの分野に分けられます。

情報通信技術の基礎的知識では、ハードウェア、ソフトウェア、プログラム言語、データベース、ネットワーク、インターネット、システム構成技術、セキュリティといった情報通信技術を支えている要素についての基本的な内容が問われます。また、経営・管理に関連した情報技術では、開発方法論、経営情報管理、ガイドライン、統計解析といった内容が問われます。

中小企業診断士試験では、例年、この2つの分野のうち、前者の情報通信技術の基礎的知識に関する問題は比較的点数が取りやすく、経営・管理に関連した情報技術に関する問題は比較的点数が取りにくくなっています。特にガイドライン、統計解析は範囲が非常に広いうえ、例年難易度の高い問題が出題されるため、暗記や過去問演習にかけた時間に対する効果が非常に低い分野です。

そのため、本書でも、比較的点数の取りやすい情報通信技術の基礎的知識の分野に重点を置き、経営・管理に関連した情報技術の分野では開発方法論、経営情報管理のよく問われる部分を中心に扱い、ガイドライン、統計解析はあえて掲載しません（統計解析については前編の運営管理で一部記載）。それは、試験合格というゴールを考えると、これらの勉強をするのであれば、その時間を別の論点や別の科目の勉強に充てた方がより効果的だからです。

なお、経営情報システムでは、日常生活で情報技術に接している人にとってはサービス問題であるものの、そうでない人にとってはテキストで取り上げておらず学んでいないのでわからない、といった問題が出題される場合があります。そのため、最近話題になっている情報技術については、自分がその用語の意味を知らなければテキストや過去問以外で確認しておくなど、負担にならない程度に、日常生活のなかで少し興味を持って触れてみるのも試験対策になるでしょう。

まとめシート

情報通信技術 の基礎的知識

SHEET 01 ~ 12



ハードウェア、ソフトウェア、プログラム言語、データベース、情報通信技術を支えている技術の基本的な内容

経営・管理に 関連した情報技術

SHEET 13 ~ 17



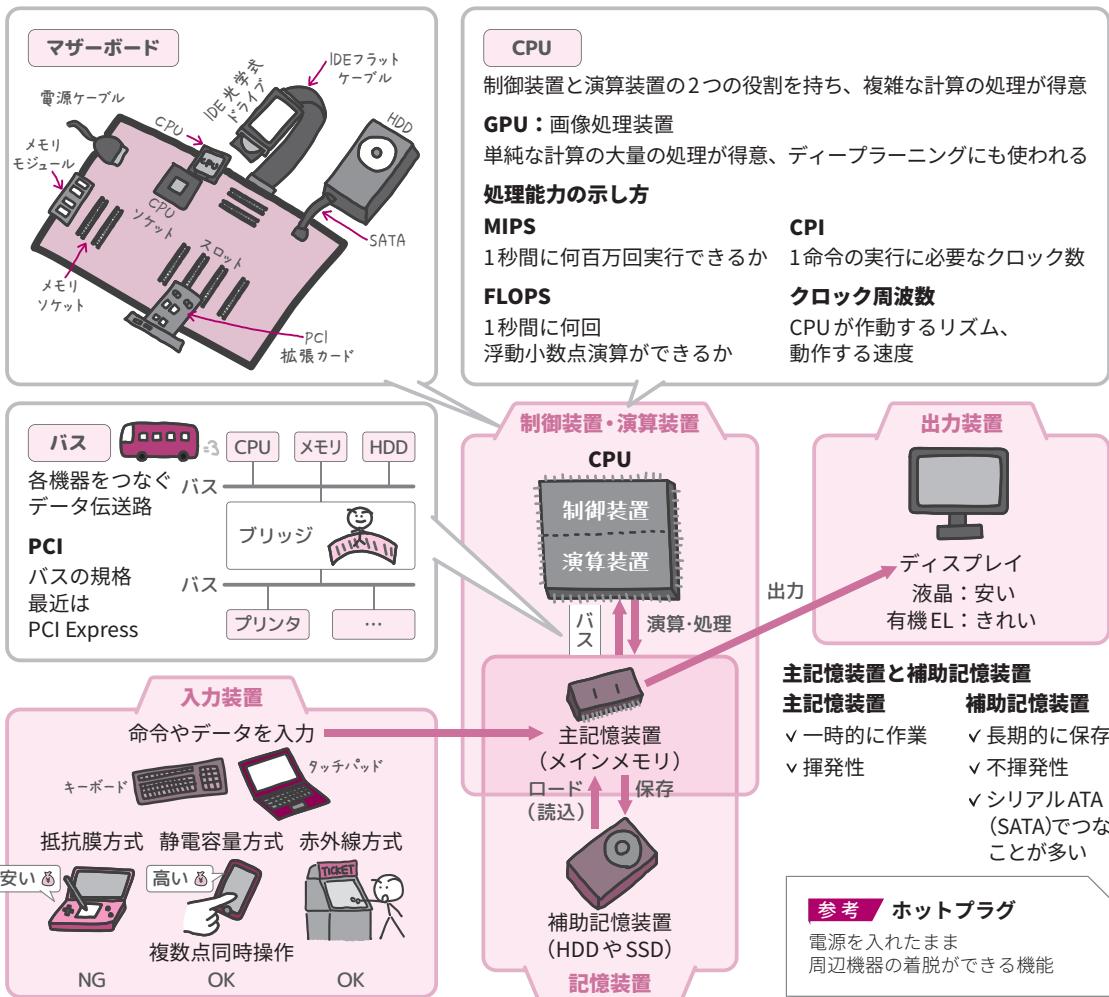
開発方法論、経営情報管理、ガイドライン

SHEET 01	コンピュータの5大装置	188
SHEET 02	記憶装置	192
SHEET 03	ソフトウェア	196
SHEET 04	プログラム	200
SHEET 05	ファイル・データ分析	204
SHEET 06	データベース	208
SHEET 07	データベース操作、モバイル端末の利用	212
SHEET 08	ネットワーク	216
SHEET 09	インターネット	220
SHEET 10	TCP/IPとプロトコル	224
SHEET 11	システム構成技術	228
COLUMN 4	経営情報システムの学習方法	233
SHEET 12	セキュリティ	234
SHEET 13	ソフトウェア開発	240
SHEET 14	アジャイル開発・テスト	244
SHEET 15	開発管理	248
SHEET 16	経営情報管理	252
SHEET 17	Web利用、その他IT関連用語	256

SHEET 01

コンピュータの5大装置

1. コンピュータの5大装置



2. 装置間の接続



01

コンピュータの 5 大装置

戦略次第
頻出度 A
難易度 11

頻出度 A B C
難易度 1 2 3

1. コンピュータの5大装置

コンピュータは**入力装置**により命令やデータが入力され、**記憶装置**(補助記憶装置)に保存されているデータを主記憶装置に**ロード**し、読み込んだデータを**演算装置**で演算、**制御装置**で制御し、**出力装置**で人が認識できるような形で示し、処理結果を記憶装置に保存します。ここで用いられる**入力装置**、**記憶装置**、**演算装置**、**制御装置**、**出力装置**の5つをコンピュータの5大装置といいます。

入力装置・出力装置

入力装置はコンピュータへの命令やデータを入力する装置です。代表的なものに**キーボード**や**マウス**、**タッチパッド**があり、入力装置と出力装置が一体となった**タッチパネル**や、音声による入出力が可能な**スマートスピーカー(AIスピーカー)**などもあります。タッチパネルの入力方式には、**抵抗膜方式**や**静電容量方式**、**赤外線方式**などがあります。

抵抗膜方式は、少し古いタイプのATMやOA機器、カーナビなどで使われている、表面のフィルムとガラス面の間にある電極の電圧の変化で位置を検知する方式です。安価で手袋をしたままでも使えますが、耐衝撃性や耐久性が低いです。

静電容量方式は、スマホなどで使われている、画面を指で触れたときに生じる微弱な電流変化を検知する方式で、比較的高価ですが、耐衝撃性や耐久性が高く、複数の点が検知可能です。

赤外線方式は、屋内の券売機や業務用ゲーム機器などで使われている、指先で触れた部分で赤外線が遮られる中断点を捉えて位置を検出する方式です。比較的大型のタッチパネルに向いていますが、屋外では日光や雨、ゴミなどにより検出エラーが生じやすくなっています。

抵抗膜方式は複数点同時操作はできませんが、静電容量方式、赤外線方式では複数点同時操作が可能です。

出力装置は、コンピュータが処理した情報を人が認識できる形で示す装置で、ディスプレイやプリンタ、音声応答装置などがあります。ディスプレイには、比較的安価な**液晶ディスプレイ**や視認性の高い**有機ELディスプレイ**などの装置があります。

記憶装置

記憶装置には、演算装置とデータをやり取りする際に用いられる**揮発性の主記憶装置(メインメモリ)**と、データを長期的に保存するために用いられる**HDD (Hard Disk Drive)**や**SSD (Solid State Drive)**などの**不揮発性の補助記憶装置**があります。**揮発性**とは電源を切るとデータが消えてしまう性質のこと、**不揮発性**とは電源を切ってもデータが保存される性質のことです。

制御装置・演算装置

コンピュータの本体にある **CPU** (Central Processing Unit) は制御装置と演算装置の2つの役割を持ち、主記憶装置から読み込んだデータの演算を行うとともに入力・出力・演算・記憶の制御を行います。

CPUはパソコン本体のマザーボードに他の記憶装置などと合わせて装着されています。CPUやメモリなどの各種パーツを装着するための受入口をソケットまたはスロットといいます。

なお、CPUに似た用語として、**GPU** (Graphics Processing Unit) があります。GPUはCPUと同じ計算処理を行う半導体チップですが、CPUは演算機の設計が複雑なのに対し、GPUは演算機の設計が単純で計算を大量に並列で処理することが得意で、主に画像処理に用いられます。近年は、その特性を活かし、ディープラーニングにも活用されています。

CPUの処理能力の表し方には、**MIPS**、**FLOPS**、**クロック周波数**、**CPI**などがあります。

MIPS (Million Instructions Per Second) は、1秒間に何百万回の指示が実行可能かを表します。

また、**FLOPS** (Floating-point Operations Per Second) は、1秒間に何回浮動小数点演算が可能かを表します。**クロック周波数**は、CPUが作動するリズムのようなイメージです。回路が処理の歩調をあわせるために用いる、クロックと呼ばれる信号が1秒間に何回発生するか(**動作周波数**)を示し、**Hz (ヘルツ)**という単位で表します。**CPI** (Cycles Per Instruction) は、1命令を実行するのに必要なクロック数を表します。演算装置のMIPS、FLOPS、クロック周波数は値が大きいほど処理性能が高く、CPIは値が小さいほど処理性能が高くなります。

2. 装置間の接続

バス

コンピュータ内部の各機器をつなぎ、データをやり取りするためのデータ伝送路のことを**バス**といいます。バスの代表的な規格には**PCI** (Peripheral Component Interconnect) や、その後継規格である**PCI Express**があります。

規格や速度が異なるバスはブリッジという変換用の回路を通して変換、接続されます。

インターフェース

コンピュータと周辺機器を接続するための規格や仕様のことを**インターフェース**といいます。インターフェースには1本の線を使い信号を直列に送る**シリアル伝送**、複数の線を使い信号を並列に送る**パラレル伝送**、無線通信によるものがあります。パラレル伝送は多くのデータを一度に送ることができますが、送られたデータの同期を取る際の制約から高速化が困難なため、現在ではシリアル伝送の方が高速となり、その結果、シリアル伝送が主力となりつつあります。

シリアル伝送のインターフェースには、**USBハブ**を介して最大127台まで接続可能な**USB** (Universal Serial Bus)、デジタルビデオカメラなどAV機器の接続に使われ、最大63台まで接続可能な**IEEE1394**、内蔵ハードディスクの接続などに用いられ1台のみ接続可能な**シリアルATA** (ATA Attachment/SATA) と、その発展形で外付けハードディスクなどの接続に用いられる**e-SATA**、パ

パソコンと液晶ディスプレイやプロジェクタなどを接続する際などに用いられる **DVI** (Digital Visual Interface) や **HDMI** (High-Definition Multimedia Interface)、ディスプレイの接続などに用いられ複数のディスプレイを直列に接続(デジーチェーン接続)できる **Display Port** などがあります。

パラレル伝送のインターフェースには、ハードディスクなどの接続に使われ、8ビット(ナロー)規格で最大7台、16ビット(ワイド)規格で最大15台の周辺機器を接続可能な **SCSI** (Small Computer System Interface)、内蔵ハードディスクなどの接続に使われ、最大2台接続可能な **パラレルATA(IDE)**: Integrated Drive Electronicsともいう)、プリンタなどの接続に使われる **セントロニクス(IEEE1284)** ともいう)などがあります。

無線通信のインターフェースには、2.4GHz帯の電波を利用し、マウスやキーボードなどのワイヤレス接続に使われる **Bluetooth** や、赤外線を利用する **IrDA** などがあります。ちなみに、2.4GHz帯の電波はWi-Fiや電子レンジなどの家電でも使われており、電波干渉が起きる場合があります。

USB

インターフェースのなかで挙げたUSBには転送速度の規格があり、規格によってデータ転送速度が異なります。規格には、USB 1.0、USB 1.1、USB 2.0、USB 3.X (USB3.0、USB3.1、USB3.2など)、USB4、さらに最大80Gbpsの転送速度を実現するUSB4 Version 2.0があり、数字が大きくなるほど性能が向上しています。なお、USB3.0以降はコネクターの内部が基本的に青くなっています。USB2.0以前のものと見分けることができます。

USBのコネクターは、接続する機器に応じて複数の種類があり、主なものにUSB Type-A、B、Cがあります。**USB Type-A**は「USB」と聞いて多くの人が思い浮かべるような標準的なコネクターです。ほとんどのパソコンには、このUSBコネクターを接続できるポートが搭載されています。USB Type-Aは差し込む向きの上下が決まっています。**USB Type-B**はスキャナーやプリンタなど、パソコンの周辺機器でよく使われているUSBコネクターです。**USB Type-C**は比較的新しいUSBコネクターで、MacBookやノートパソコン、Androidスマートフォン・タブレットなどで採用されています。差し込む向きの上下の区別がなく、どちらからでも差し込める点が特徴です。

なお、電源を入れたまま周辺機器の着脱ができる機能のことを **ホットプラグ** といいます。

すぐやる! 過去問|コ一ナ一

■ コンピュータの5大装置

レベル1 R7-1, R3-1, R2-1, R1-1, H30-1, H29-2, H28-1

レベル2 R6-1, R4-1, H29-1, H29-3



第5章

中小企業経営・ 中小企業政策

中小企業経営・中小企業政策の概要

中小企業経営・中小企業政策はその名の通り、中小企業経営と中小企業政策の2つの分野から成る科目です。中小企業経営・中小企業政策では、例年42問出題され、前半の21問が中小企業経営、後半の21問が中小企業政策から出題されます。

中小企業経営の分野では、2025年度版中小企業白書と小規模事業者白書から問題が出題されます。

しかし、中小企業白書と小規模事業者白書はページ数にして合計1,000ページ以上ある分厚い冊子です。全部覚えるのはなかなか大変ですので、ポイントを絞って覚えることが重要です。ですが、逆に言うと、出題範囲は中小企業白書、小規模事業者白書に限られているため、経営情報システムのように、対策すらしていない範囲から出題されるということは滅多にありません。

本書では2025年度版中小企業白書・小規模事業者白書より、試験で問われそうなポイントに絞って引用しながら、その内容を紹介しています。

中小企業政策の分野では、中小企業基本法や小規模事業者振興基本法、中小企業憲章といった中小企業に関わる法律や、中小企業向けの施策の内容について問われます。

中小企業経営の分野は毎年内容が変わりますが、中小企業政策は法や制度の改正がない限り大きな変化はありませんので、多年度で挑戦される方はこちらの中小企業政策の分野で得点を稼ぐというのも戦略の1つです。

この科目は基本的に白書や法律、施策の内容をどれだけ知っているかが問われるものなので、理解というよりはこれらをどれだけ暗記しているかが重要になってきます。なお、暗記方法などに関しては、コラムで解説していますので、よろしければ参考にしてください。

まとめシート

中小企業経営

SHEET 01 ~ 05



2025年度版中小企業白書と小規模事業者白書から、
中小企業の動向などについて

中小企業政策

SHEET 06 ~ 14



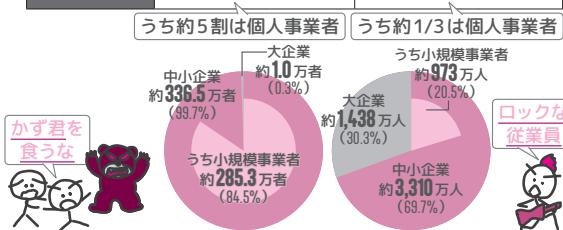
中小企業基本法や小規模事業者振興基本法、
中小企業憲章といった中小企業に関する法律や
中小企業向けの施策の内容について

SHEET 01	中小企業の統計	262
SHEET 02	中小企業の動向①	266
SHEET 03	中小企業の動向②	270
SHEET 04	スケールアップへの挑戦	274
SHEET 05	中小企業の経営力、小規模事業者白書	278
SHEET 06	中小企業関連の法律	282
SHEET 07	お金関係の支援	286
SHEET 08	共済制度・融資制度	290
SHEET 09	創業と経営力強化のための支援	294
	COLUMN 5 中小企業経営・政策の勉強方法 ①エピソード記憶の活用	297
SHEET 10	事業承継・その他の支援	298
SHEET 11	受託取引の適正化	302
SHEET 12	組合・高度化事業	306
	COLUMN 6 中小企業経営・政策の勉強方法 ②暗記カードの活用	311
SHEET 13	中小企業の成長促進のための計画	312
SHEET 14	補助金制度	316

SHEET 01 中小企業の統計

1. 中小企業の企業数・従業者数

	企業数・割合		従業者数・割合	
中小企業	336万	99.7%	3,310万人	69.7%
小規模事業者	285万	84.5%	973万人	20.5%



中小企業・小規模事業者の企業数・従業者数(2012-2021)

	企業数	従業者数
中小企業	一貫して減少	増加 (2016→2021)
うち小規模事業者	一貫して減少	一貫して減少

業種別の企業数と従業者数(2021)

企業数（数）	覚え方：貢献！宿で製造	
中小 小売 → 建設 → 宿泊・飲食サービス → 製造		
小規模 小売 → 建設 → 宿泊・飲食サービス → 不動産・物品賃貸	小さく建てた宿を賃貸	
企業数（構成比）	中小／小規模事業者が占める割合	
中小 建設 → 不動産・物品賃貸		数が多いのは 「成功やけん」 (博多弁風)
小規模 不動産・物品賃貸 → 建設		
従業者数（数）		めんたいこ
中小 製造 → 小売 → 宿泊・飲食サービス → 建設		
小規模 建設 → 製造 → 小売 → 宿泊・飲食サービス		
従業者数（構成比）	中小の4位→小規模の1位	
中小 医療・福祉 → 建設		
小規模 建設 → 不動産・物品賃貸		

3. 中小企業・小規模事業者の動向と経営指標

実質 GDP 2024年はプラス成長△0.1%のみ

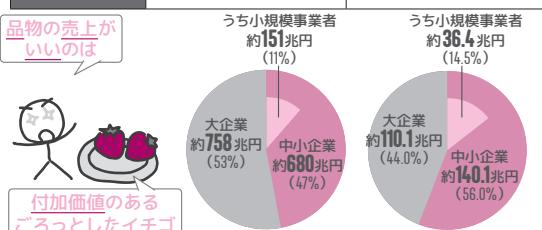
業況判断 DI 2020年第2四半期：悪化
→ 2023年第1～2四半期：回復
→ 2024年以降回復は足踏み

業種別の経営指標(2023)

業種別分析指標(2023年)						
指標	全産業	最大	最小	製造・卸・小売で見ると(値が大きい順)		
自己資本利益率(ROE)	9.88%	宿泊・飲食サービス	学術研究・専門技術サービス	小売	卸売	製造
売上高経常利益率	4.37%	不動産・物品賃貸	小売	製造	卸売	小売
総資本回転率	1.01回	卸売	不動産・物品賃貸	卸売	小売	製造
自己資本比率	44.4%	学術研究・専門技術サービス	宿泊・飲食サービス	製造	卸売	小売
財務レバレッジ	2.25倍	宿泊・飲食サービス	学術研究・専門技術サービス	小売	卸売	製造
付加価値比率	26.13%	サービス(他に分類されないもの)	卸売	製造	小売	卸売

2. 中小企業の売上高・付加価値

	売上高・割合		付加価値・割合	
中小企業	680兆円	47%	140兆円	56%
小規模事業者	151兆円	11%	36兆円	15%



中小企業・小規模事業者の売上高・付加価値

	売上高	付加価値
中小企業	一貫して増加	増加
うち小規模事業者	一貫して増加	増加

業種別の売上高と付加価値額(2020)

壳上高(額) 押せ! 健康!
中小 卸→製造→建設→小売
小規模 建設→製造→卸→不動産・物品販貸

~~売上高（構成比）~~

中小 医療・福祉 → 生活関連サービス・娯楽
小規模 建設 → 不動産・物品賃貸

付加価値（額）
付加価値が付いた
聖剣を卸して売ろう！

中小 医療・福祉 → 生活関連サービス・娯楽

小規模 建設 → 不動産・物品貢貢

経営指標の推移

指標	中小企業の推移
売上高	2021年第1四半期を底に増加傾向 → 2023年第4四半期は中小企業の増加幅が縮小
経常利益	2020年第3四半期を底に増加傾向※一時期減少

01

中小企業の統計

1. 中小企業の企業数・従業者数

日本の企業数(2021年度)は約338万者で、そのうち中小企業の企業数は約336万者で99.7%を占めます。さらに、そのなかで小規模事業者は約285万者で、全体の84.5%を占めます。

従業者数は日本全体で4,748万人、そのうち中小企業の従業者数は3,310万人と69.7%を占めます。さらに、そのなかで小規模事業者の従業者数は973万人で20.5%を占めます。「かず君を食うな(997)」、「ロックな従業員」と覚えましょう。

2012年から2021年の企業数は、中小企業、小規模事業者ともに一貫して減少しています。また、小規模事業者の従業者数も一貫して減少しています。それに対し、中小企業の従業者数は2016年から2021年の間で増加しています。

2021年の企業数を業種別に見ると、中小企業の場合、企業数は多い順に**小売業、建設業、宿泊・飲食サービス業、製造業**となっています。「貢献！宿で製造」と覚えると良いでしょう。

小規模事業者の場合、**小売業、建設業、宿泊・飲食サービス業、不動産・物品賃貸業**の順となっています。「小さく建てた宿を賃貸」と覚えると良いでしょう。

企業数をその業種のなかで中小企業や小規模事業者が占める割合を示す構成比で見た場合、中小企業は建設業の構成比が最も高く、次いで不動産・物品賃貸業となっており、小規模事業者は不動産・物品賃貸業が最も高く、次いで建設業となっています。

また、2021年の従業者数を業種別に見ると、数が多い順に**製造業、小売業、宿泊・飲食サービス業、建設業**となっています。博多弁風に、中小企業の場合、「数が多いのは『成功やけん』(製、小売、宿、建)」と語呂合わせで覚えると覚えやすいでしょう。

小規模事業者の場合、従業者数は**建設業、製造業、小売業、宿泊・飲食サービス業**の順と、中小企業の第4位である建設業が第1位となっています。

従業者数をその業種のなかで中小企業や小規模事業者が占める割合を示す構成比で見た場合、中小企業は**医療・福祉**が最も高く、次いで**建設業**となっており、小規模事業者は**建設業**が最も高く、次いで**不動産・物品賃貸業**となっています。

2. 中小企業の売上高・付加価値

2020年の中小企業の売上高の合計は約680兆円で、そのうち小規模事業者の売上高の合計は約151兆円です。すべての規模の企業の**売上高**に占める中小企業の割合は約47%で、小規模事業者の割合は約11%です。

また、2020年の中小企業の付加価値額の合計は約140兆円、そのうち小規模事業者の付加価値額の合計は約36兆円です。すべての規模の企業の**付加価値額**に占める中小企業の割合は約56%、小規

模事業者の割合は約15%となっており、売上高の場合と比較すると付加価値額の中小・小規模事業者の比率は若干高めです。中小企業の売上高と付加価値の比率は「品物(47)の売上がいい(11)のは、付加価値のあるごろ(56) つとしたイチゴ(15)」と覚えておくと良いでしょう。

企業規模別に売上高と付加価値額の推移を見ると、売上高は中小企業も小規模事業者も2013年から2020年まで一貫して増加しており、付加価値額は中小企業も小規模事業者も2015年から2020年度の間で増加しています。

2020年の売上高を業種別に見ると、中小企業では高い順に卸売業、製造業、建設業、小売業となっています。中小企業の売上高は「押せ！健康！」（卸、製、建、小売）の順と覚えると良いでしょう。

小規模事業者の場合、高い順に建設業、製造業、卸売業、不動産・物品賃貸業となっています。小規模事業者の売上高は「消せ！恐ろしい不動産（建、製、卸、不動産）」の順と覚えると良いでしょう。

売上高をその業種のなかで中小企業や小規模事業者が占める割合を示す構成比で見た場合、中小企業は医療・福祉が最も高く、次いで生活関連サービス・娯楽業となっており、小規模事業者は建設業が最も高く、次いで不動産・物品賃貸業となっています。

また、2020年の付加価値額を業種別に見ると、中小企業では高い順に製造業、建設業、卸売業、小売業となっています。中小企業の付加価値額は「付加価値が付いた聖剣を卸して売ろう！」（製、建、卸、売）と覚えると良いでしょう。

小規模事業者の場合、高い順に建設業、製造業、不動産業、学術研究・専門技術サービス業となっています。小規模事業者の付加価値額は「消せ！ふせん」（建、製、不、専）の順と覚えると良いでしょう。

さらに、付加価値額をその業種のなかで中小企業や小規模事業者が占める割合を示す構成比で見た場合、中小企業は医療・福祉が最も高く、次いで生活関連サービス・娯楽業となっており、小規模事業者は建設業が最も高く、次いで不動産・物品賃貸業となっています。

3. 中小企業・小規模事業者の動向と経営指標

2024年の実質GDP成長率は0.1%となり、2023年度の成長率を下回りましたが、プラス成長となりました。

業況判断DIは、2020年は大きく落ち込んだものの、2023年第2四半期における「中小企業」の景況認識は、1994年以降最高水準を記録しました。一方で、足下では回復に足踏みの傾向が続いています。

また、経営指標の推移を見ると、中小企業の売上高は、2021年第1四半期を底として増加傾向にありましたが、2023年第4四半期においては、増加幅が縮小しています。中小企業の経常利益は、2020年第3四半期を底に増加傾向で推移していました。その後、一時減少傾向に転じたものの、2023年第3四半期まで増加傾向にあります。

また、2023年度における、中小企業の各経営指標の全業種平均値と指標が最大の業種、最小の業種については下記の通りとなります。

自己資本当期純利益率(ROE)は9.88%で、最大の業種は宿泊・飲食サービス業、最小の業種は学

術研究・専門技術サービス業です。

売上高経常利益率は4.37%で、最大の業種は不動産・物品賃貸業、最小の業種は小売業です。

総資本回転率は1.01回で、最大の業種は卸売業、最小の業種は不動産・物品賃貸業です。

自己資本比率は44.4%で、最大の業種は学術研究・専門技術サービス業、最小の業種は宿泊・飲食サービス業です。

財務レバレッジは2.25倍で、最大の業種は宿泊・飲食サービス業、最小の業種は学術研究・専門技術サービス業です。

付加価値比率は26.13%で、最大の業種はサービス業(他に分類されないもの)、最小の業種は卸売業です。

なお、製造業・卸売業・小売業の3つの業種に絞って見ると、それぞれ値が大きい順に自己資本当期純利益率(ROE)は、小売業、卸売業、製造業、売上高経常利益率は、製造業、卸売業、小売業、総資本回転率は、卸売業、小売業、製造業、自己資本比率は、製造業、卸売業、小売業、財務レバレッジは、小売業、卸売業、製造業、付加価値比率は、製造業、小売業、卸売業となります。

おわりに

本書を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

中小企業診断士試験は、ビジネスの幅広い知識と実践力が求められる、非常に面白く学びがいのある試験です。

仕事や家庭と両立しながら挑戦されている方も多い中で、限られた時間の中でも効率的に、確実に学習を進められるように、そんな思いで本書を作成しました。

本書の中心となる「まとめシート」は、私自身が受験生時代に作っていた手書きの資料とそれを使って診断士試験をストレートで合格した経験をもとにしています。

多くの受験生の声に支えられながら改良を重ね、今では診断士試験に挑む仲間たちと一緒に作り上げてきた教材といえるものになりました。

本書の校正や内容改善のためにご協力くださった作成協力の皆さまには、心より感謝申し上げます。皆さまからの的確なご指摘やアドバイスのおかげで、受験生の目線に立った改訂を続けることができています。

そして、YouTubeなどのSNSや、直接お会いした際に温かい感想やメッセージをくださる読者の皆さま、いつもその言葉が執筆の大きな励みとなり、次の改訂へと向かう原動力になっています。本当にありがとうございます。

本書が、これから中小企業診断士を目指す皆さまの学習の一助となり、合格への道を少しでも明るく照らすことができれば幸いです。

そして、診断士試験の学習を通じて自分の可能性を広げる楽しさを感じていただけたら、著者として大変嬉しく思います。



令和8年1月13日

中小企業診断士
野網 美帆子

書籍の正誤について

万一、誤記と思われる記載がございましたら、下記のURLより正誤表をご確認ください。
まとめシートHP 書籍紹介ページ <https://www.matome-sheet.com/publishing>
もし、上記の正誤表に記載のない誤記がございましたら、下記よりお問合せください。
まとめシート 正誤に関するお問合せ <https://www.matome-sheet.com/contact/>
なお、書籍の正誤以外のお問い合わせにつきましてはお答えいたしかねますので、
あらかじめご了承ください。

2026年度版

中小企業診断士 1次試験 一発合格まとめシート

後編（経済学・経済政策、経営法務、経営情報システム、中小企業経営・中小企業政策）

2026年1月13日 初版発行

著 者：野網 美帆子

発行元：エイチス株式会社

発売元：KNS出版

〒486-0958 愛知県春日井市西本町3-235

木野瀬印刷(株)内

TEL：0568-31-3118

印 刷：木野瀬印刷(株)

本書の無断転載による複写、複製、引用
は固くお断りいたします。

連絡先：info@matome-sheet.com

Copy Rights© 2025 Eichis Co.,Ltd All Rights Reserved.
ISBN 978-4-905212-79-9 C3034 ¥3300E